

## 認定水準、評価項目の内容等を検討するための試験評価の実施結果

### ○ 目的

優れた取組を進める事業所の取組状況等を確認し、以下の事項を検討

- 1 各認定区分における認定水準、評価項目の区分ごとの配点
- 2 各評価項目の評価内容、評価水準
- 3 必須項目の不合格要件及びその緩和措置

### ○ 実施方法

#### (1)実施期間

令和4年12月下旬から令和5年1月中旬まで

#### (2)実施事業所

キャップ&トレード制度の対象事業所のうち、優れた取組を進めていると考えられる事業所を複数の用途において選択

区分Ⅰ	事務所・テナントビル	(2か所)
	熱供給施設	(1か所)
	商業施設	(1か所)
	情報通信施設	(1か所)
区分Ⅱ	工場	(2か所)

### ○ 主な実施結果

新規項目を中心に取組状況を把握。認定水準や評価項目の配点、評価水準等を検討。以下のような対応を実施。

- ・敷地内の太陽光発電システムが 3000kW 弱程度設置している事業所があった（今後も増設を予定）。太陽光発電設置容量の評価基準検討の参考とした。
- ・事業所の使用電力を 100%再生可能エネルギー電気で賄っている事業所があったため、再生可能エネルギー電気に関する評価基準検討の参考とした。
- ・浸水対策として、電気室等を上階に設置している取組を採用している事業所があったため、気候変動適応に関する評価項目の判断基準へ反映した。